

記入例

(1)単体企業用

別記様式2

配置予定技術者調書

会社名 ○○建設㈱

資格区分	主任技術者		
配置予定技術者名 (生年月日)	○○ ○○ (昭和○年○月○日)		
上記技術者が 営業所の専任技術者	営業所の専任技術者でない <small>※「営業所の専任技術者である」又は「営業所の専任技術者でない」のいずれかを記載すること。</small>		
所属会社名	○○建設㈱		
法令による免許 国家資格 (取得年月日) (登録番号等)	1級土木施工管理技士 (昭和○年○月○日) 第○○○○○○○○号		
工 事 実 績	工事名	○○工事	
	発注機関名	○○市	
	施工場所	岡山県○○市○○地内	
	契約金額	○○, ○○○, ○○○円	
	工期	平成○年○月～平成○年○月	
	従事役職	監理技術者	
	工事内容	○○工 L=○, ○○○m ○○工 V=○○○m ³	
同一技術者を配置予定 技術者として届け出た その他の入札案件	発注機関名	工事名(工事番号)	開札日時
	岡山県広域水道企業団	□□工事(○-○)	○月○日10:00
			月 日 :
現 在 従 事 工 事	工事名	/	
	発注機関名		
	施工場所		
	工期		
	従事役職		
	(専任・非専任の別)		

- (注) 1 配置予定技術者は、3名まで申請（配置予定技術者調書を申請した配置予定技術者の人数分提出）が可能である。ただし、総合評価落札方式（議会議決案件を除く。）については、1名のみ申請することができる。
- 2 公告で定められた期限までに、資格確認書（様式第1-1号）とともに、記載事項を証明する書類（次の①～④など）を提出すること。
- ①「法令による免許・国家資格」の写し。
 - ②入札参加資格確認申請日以前に3月以上の雇用があることを証明する書類の写し。
 - ③配置予定技術者が監理技術者の場合においては、監理技術者資格者証の写し及び監理技術者講習修了証の写し。
 - ④工事实績を証明できる書類（CORINSの写し等）。（公告において配置予定技術者の工事实績が入札参加資格とされている場合。）
- 3 「資格区分」欄には、配置予定技術者を主任技術者として配置する場合は「主任技術者」と記載し、監理技術者として配置する場合は「監理技術者」と記載すること。
- 4 総合評価落札方式では、岡山県広域水道企業団が行う入札において、1人の技術者で参加できる入札案件は3件までに限る（配置技術者の専任が必要とされない工事の入札のみに参加申請をしている場合を除く。）。
- 5 総合評価落札方式では、本件入札に配置予定技術者として申請をした技術者を、他の入札案件に配置予定技術者として申請している場合には、その入札案件に記載すること。なお、総合評価落札方式で配置技術者の専任が必要とされる工事の入札案件においては、岡山県広域水道企業団が行う入札以外の入札で配置予定として申請を行っている技術者は申請できないので留意すること。
- 6 一般競争入札（条件付）公告共通事項の「3配置予定技術者の取扱い」に十分留意すること。